

令和 7 年度第 1 回 京丹後市図書館協議会（会議録）

1. 開催日時 令和 7 年 6 月 20 日（金）午後 1 時 30 分～3 時 00 分
2. 開催場所 京丹後市大宮庁舎 4 階 第 2・3 会議室
3. 出席者氏名
 - (1) 審議会委員
松岡委員、木本委員、東委員、大下倉委員、増田委員、味田委員、吉岡委員、小森委員、
※ 欠席 2 名（中村隆倫委員、中村智彦委員）
 - (2) 事務局
教育長 松本明彦
教育次長 川村義輝
生涯学習課 課長 松本優、課長補佐 橋本将彦、主任 野村拓矢
図書館 館長 亀田真奈美、主任 田辺聖子
4. 内容
別紙（会議次第）のとおり
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 傍聴人 0 人

会議録

松本課長 皆さんこんにちは。35 度の大変暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので、ただいまから今年度初回の図書館協議会を開催させていただきたい
と思います。会議の冒頭進行を務めさせていただきます京丹後市教育委員会生涯学習課課長
の松本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日欠席ですが、中村隆倫委員、中村智彦委員からご欠席のご連絡をいただいております。
本日の協議会につきましては、委員 10 名のうち出席 8 名と過半数の出席をいただいております。

最初に委員の交代についてご報告させていただきます。昨年度までの吉岡龍也校長先生に
変わりまして、今年度は宇川小学校の吉岡美保校長先生にお世話になります。どうぞよろし
くお願いいたします。時間の都合上、委嘱状につきましては机上交付とさせていただきます。
それでは開会にあたりまして松岡会長からご挨拶いただきたいと思います。

松岡会長 皆さんこんにちは。この間まで、まだ寒かったんですけど。数日前ぐらいから、気温が上
がってきてまして、これからもっと暑くなると思うと、本当に思いやられるんですけど、で
も、今朝も早いうちから 1 時間ほど畑仕事をしてきました。

私の知り合いに天体の大好きな人がいまして、子供たちは小さいときから、星の話、天体
の話を聞いて大きくなって、一家中で天体が大好きで、近年、天体望遠鏡を覗かせてもら
う機会がありました。

最近は4月に伺いまして、春の大三角とか月が、こんなふうに見えるんだみたいな感じで、感激しました。今年は、すごくラッキーなことがありました。イーロン・マスク氏の会社が開発構築しているスターリンク衛星というのがあるんですが、遠距離でもインターネットが高速のサービスができるよう提供している会社なんですけれども、そのスターリンク衛星が見えたんです。ぱっと見たら、こっちの空からそれが渡っていったんです。それは、宮沢賢治の銀河鉄道の夜の汽車みたいに、10個ぐらいつながってましたかね。もうきらきら光ってバーッと夜空を渡っていったんです。その天体大好きなご家族も、まだ1回か2回しか見たことがないというスターリンク衛星を、とっても幸運なことに見せてもらえて大感激して帰ってきました。そうすると星のことが知りたくなりまして、まず、一旦はやはり図書館です。大人の本はとも私は無理だと思いましたので、子供の百科事典。植物とか、動物とか魚とかあるポプラディアとかいう、そのシリーズの中の星座を借りまして、開けたんですけど、それがとても難しくて。とてもこれは無理だと思って1回返したんですけど、また秋の星座冬の星座を見せてもらうことができるので、今から勉強しようかなと思っていますところです。そのときに、よく見るユーチューブじゃなくて、やっぱり本だなということを再確認しました。こんな高齢者になっても、調べたいことがある自分を褒めてあげたいなと勝手に思ってるんですけれども。

あと、私はボランティアで、小学校とか中学校に、昔話の語りをしに行っています。朝の10分間の時間なんですけれども、絵本も大好きなんですけれども、この20年くらいは語りをしてまして。今週は網野町の島津小学校の1年生のところに行ってきました。お初にお目にかかるので、子供たちも、どこのおばあちゃんだと思って見てるんですけれども、お話が始まると顔を見て語りますので、面白いと思ってるなとか、興味津々の顔だなとか思いながら語ってきました。最後には、面白かったという声が聞かれて大満足して帰ってきたんですけれども。ボランティアに行ってるというより、自分が元気をもらいに行ってるんですけれども。子供たちは、お話や絵本は嫌いな子あまりないと思うんですけど、そこから面白かったから本を読んでみようっていうところに至るまでには、大きな大きなハードルがあるなと思っています。それが年々なんか高くなってるような気がして、少し心配になるんですけど。やはり子供のうちに本を読んだその面白さ、ワクワク感っていうのを、味わってほしいなという願いが、年々高くなるような気がします。

今日はいろんな報告の中で、新しい図書館が入る施設についての報告もあるようですし、委員の皆様のご意見をお伺いするというふうに聞いています。私も、新しい施設についてわからないことばかりで、今日、不安に思いながら来たんですけれども、本当に思っていることを出したり、わからないことはわからないって出したり、自分自身もそうしようと思っておりますし、どうぞ皆さん、たくさんのご意見やご質問を出していただいて、よい協議会になりますように、どうぞよろしくお願いいたします。

松本課長
教育長

続きまして、京丹後市教育委員会松本教育長よりご挨拶申し上げます。

皆さんこんにちは。本年度第1回目の図書館協議会ということで、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。とりわけ小中の校長先生方にはもう1か月を切った1学期の学期末というところで、何かとお忙しい中、ご出席いただきましたことをお礼申し上げます。

ます。先ほど事務局からもありましたが、本当に暑い中で、教育活動をしていくのにはなかなか厳しいシーズンになってきたというふうに思います。昨年度ぐらいから熱中症警戒アラートも学校現場は見ながら、いろいろな活動を判断していくというところで、本当に難しい時代になったと感じているところであります。

さて5月の末に、府内の教育長の会議が綾部でありました。それが綾部の「あやテラス」という所であったんですけれども、そこにはちょうど1年半前に図書館ができておりまして、綾部は大きな町なんですけど人口的には3万人の規模でして、そういう中でも立派な図書館ができております。本日検討いただくような京丹後の都市拠点と同じように、雨の日でも遊べる子育て施設とセットに、図書館がうまく機能するような形で作られていてその姿を見てると、本当に利便性も大変良い所です。そういうものが要るのではないかなということを、改めて感じました。また、この6月の議会の中で、新たな場所へということで出来た都市拠点整備計画のですね、補正予算の審議もされております。そういうタイミングでもありますので、今日はいつもの議題の他に、今後の都市拠点施設での中央図書館の方向性についても教育委員会の方からお示しをさせていただいて、それについて皆さん方から忌憚らないご意見をいただきたいと思いますところでもあります。少しでも子供たちが本離れから解消され、本にしっかり向き合って楽しみながら知識を増やしていったって、子供たちの能力が高まっていくというような図書館を目指しておりますので、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

松本課長

この会議は公開で開催をさせていただきます。今日の傍聴者は0名となっておりますのでご報告いたします。この会議は会議録を作成させていただきます。後日、会議録をご確認いただきまして、署名をいただくということになっております。

会議中に発言をされる際は、マイクで発言していただくようにご協力をよろしくお願いいたします。

次に資料の確認をさせていただきたいと思います。資料ナンバー1としまして令和6年度京丹後市立図書館の利用状況の資料をつけております。次に資料ナンバー2としまして、令和6年度貸出者数・来館者数比較の資料をつけております。資料ナンバー3は令和7年度図書館事業計画、資料ナンバー4は令和7年度京丹後市立図書館の当初予算をつけております。次に資料ナンバー5としまして京丹後市立中央図書館の整備について案ということでつけております。資料ナンバー6は市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート調査票。資料ナンバー7は市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート調査報告書。最後に資料ナンバー8としまして、あみの図書館空調改修工事スケジュールということでつけております。

資料の1から8までにつきましては事前に配付させていただいておりますが、本日、お忘れの方がおられましたら申し出いただきたいと思います。大丈夫でしょうか。またですね資料のナンバー5につきましては、差し替えをお願いしております。

机上に置いております資料の方をご覧いただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。差し替え前の資料につきましては、机上に置いていただけるとありがたいと思っております。それでは早速ですが議事の方に移らせていただきます。この後の協議についま

しては、京丹後市立図書館条例施行規則第 25 条におきまして会長が議長となるということで規定されておりますので、松岡会長の方をお願いしたいと思います。では松岡会長よろしくをお願いいたします。

議長 それでは議事に入ります。議事①令和 6 年度市立図書館の利用状況について、事務局よりお願いいたします。

事務局 ～事務局から説明～

議長 資料 1 と資料 2 について質問のある方はお願いします。

委員 貸出点数とか貸出者数が、久美浜図書室ってすごく近年伸びてますよね。他の同じような規模のところはそんなに変わらないのに、久美浜が多いというのは、何か工夫をしておられるのか。そこの職員さんの対応とか、何か取組とかがあって、増えているのでしょうか。理由がわかったらお願いします。

事務局 久美浜図書室につきましては、商工会の前のあたり、元地域公民館だった施設から、久美浜庁舎の方へ移転しました。その移転によって、広く明るくなり、駐車場もすごく使いやすくなって、その段階で利用が伸びました。来館者数の伸びについては、今まで久美浜図書室にあるものしか借りることがなかった方も、他の図書館から取り寄せることができるんだということが浸透し、すごく移転後は伸びました。ちょっとここ近年は下がっていますが、久美浜以外の他の図書館にも借りられる本がたくさんあるんだなということで、久美浜を利用しながら網野を使ったり、峰山を使ったりということで、他の図書館や図書室を併用して使う方が最近増えてるとい、報告を受けております。

議長 他に何かございませんでしょうか。無いようでしたら、次に令和 7 年度市立図書館の事業計画等について、事務局よりお願いします。

事務局 ～事務局から説明～

議長 ただいまの事務局からの説明について、ご質問等ある方はお願いいたします。ございませんか。それでは無いようでしたら、次は都市拠点公共施設の中央図書館整備方針案と、市立図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート結果について、関連することですので、一括で事務局の方でご説明をお願いいたします。

事務局 ～事務局から説明～

議長 ただいまの事務局の説明について、ご質問等ある方は、お願いします。アンケートについてでも、それから、整備案についてでも、どちらのご意見でも構いませんけれども、特に整備案の項目、5・6 について、ご意見がいただければと思いますが、いかがでしょうか。

委員 最初のキャッチフレーズに、リビングライブラリーという素敵なキャッチフレーズがあるんですけど。特に新しく図書館が設立された場合、今もなんですけども、目的のところに、市民一人一人の力量を高めるとい、ということがあると思う。豊かな時間を持てたり、知的好奇心を満たしたり、いろんな知識を得るとい、そういう個が高まる目的と、もう 1 つは、特にそこが複合施設であるということも踏まえて、やっぱり図書館は人をつなげるという大きな側面があると思います。特に今度、子育て施設と一緒になる複合施設ということで、やはり図書館って、本を仲立ちにして、人と人とが繋がったりする場によりなっ、ほしいと思うわけです。私はボランティアしている立場から、ボランティアで子供たちの方

を結びつけたり、保護者と保護者を結びつけたり、要はもう利用者さんとか、本好きの人たちが読書会したりとか、ボランティア同士で子供たちに何かしようかって考えたり、いろんな結びつき方が、考えられると思うんです。それで、ホッと一息して本当に居場所となるような側面も1つなんだけど、私の希望としては、ここに人がつながるという側面の言葉が入ったら、もっといいと思います。地域コミュニティということも謳ってあるので、本当に活性化させるために、やっぱり人と人をつながる、そういう居場所みたいな要素もこの中に入れていただきたいというのが1つの意見です。

それから質問は、京丹後市には喫緊の課題がたくさんある中で、図書館の建設をしていくということは大変なことだと思うんです。その中でこういう指定管理者制度というのが出てきたと思います。危惧はたくさんあるんですけど、ネットでマイナス面を調べたんですけど、メリットもあり、デメリットもありということで。実際にやっぱり市の直営に戻ったという自治体もあつたりしますので、本当に危惧はあります。でも本当に市民が、利用者が本当によかったなと思えたらそれでいいと思います。私が一番知りたいのは、市、教育委員会とその会社との関係というか、力関係についてです。一体どんな方針でどんな図書館を作るのかっていうのは、もちろん市が主導権を握ると思うんですけども、本当に会社が運営になったら市の意向はどうなるのかという、そこはしっかり、市の図書館のあり方とか、そういうことがきちんと通せるのかとか、何かその力関係がわからないのでその辺りを教えてください。

事務局

まず1点目の人がつながるというキーワードについて。先ほどいただいた、人がつながるということは、重要なキーワードかなというふうに考えております。都市拠点公共施設ということで、多くの人が集って、人が交わって人がつながるというところは非常に重要な要素だと思いますので、図書館機能と子育て機能が複合して相互作用を持って、まち全体のにぎわいにつながるということが重要なポイントだと思いますので、盛り込む形で検討させていただきます。ありがとうございます。

2点目なんですけれども、指定管理の形態としまして事業者と市の関係性について。こういう図書館運営をしていきたいというのは、市の方が策定した業務水準書という方針書がありますので、そちらに細かい点まで市の方が作り込んで、こういう図書館運営をしてくださいというところを、事業者に示します。その上で、それができるという事業者が手を挙げていただくということになります。なので、京丹後市が考えている図書館運営の形態っていうのをまず示させていただいて、事業者に手を挙げていただくということになるかと思います。施設の設置自体は、市の方がするんですけども、建設段階、設計段階から、その事業者に関与していただいて、その事業者の方が持っている図書館運営のノウハウを最大限、設計の第1段階から活用させていただくような、そういうような方法を、今現在検討しているところです。

事務局

少し補足を。指定管理については、実際にその運用が始まってからも、業務水準書で終わりではなくって、年に何回かは必ずモニタリングして、きちんと運営管理ができてくるかということを審査する場を持ったりとか、あと毎月必ず市側と図書館側との協議をする場を持って、管理、運営の状況がどうかということを、細かく押さえるという流れになるかと思いま

す。

委員 指定管理云々で、指定管理施設の中に市の職員も入るんですよね。その中にずっと。民間業者へのお任せではないですね。

事務局 教育委員会が図書館について引き続き担当することになると思うので、運営がしっかりなされているがとかそういったところをチェックする担当者をつけるということになると思います。

委員 チェックだけでなく、中央図書館の中の職員として何名か入るのか。全く指定管理者だけでやっていくのか。どうなんですか。

事務局 中央図書館は指定管理の事業者の従業員がすべてということになります。

委員 他の図書館は、今のまま市の職員が入るんですか。中央図書館以外は。

事務局 中央図書館以外、あみの図書館と丹後図書室と、久美浜図書室については、運営形態は、先ほど説明させていただきましたように、指定管理の方向性、直営の方向性も含めて可能性を残しつつ、他地域の例もリサーチしながら今後検討させていただきたいというふうに今のところは考えております。

委員 資料の中では、指定管理的な部分も入るように書いてありましたね。そのように書いてあったので、これ大丈夫かなという思いもあります。今日もここに来る前に、大宮図書室を覗くと高校生が一生懸命勉強しておられたんです。こういう場所がほしいかなあと、ちょっと聞いてみたんですけど。もし中央図書館ができて、やはりこういう場所で勉強ができれば嬉しいなという声がありました。確かに、閲覧は準備されると思うんですよ。だけど勉強する場所がなくなるということは、統合して全部なしにしますというのは危険があると思います。みんなが中央図書館に行けるわけじゃない。中学生や小学生が自転車乗っていきますとなれば、親も働いてますし不安だという気もあるんです。だから、本当に十分考えて決めないと、せっかくいいものができた、さあ活用してくださいといわれても。

それから、年配の方がもう免許返納したら、どうやって行くんだろうなあという声もたくさんあります。だからそういうことも十分検討していただいて、丹後町の人でも、久美浜町の人、弥栄町の人、交通の手段が上手いことならないといけない。利用者が車で行ける人ばかりじゃないということを念頭に置いてしていただかないと。

すごくいい場所があって行けばお友達に会えるいうすごくうれしい部分と、それがどこまで活用できるのかなという不安がすごくある。

若い子、小さい子にとったら、行きたいけど行けない。お母様お父様働いてるということをも十分検討していただいて、すばらしいものにしてほしいです。

資料にはいいことばかり書いてあるんだけど、本当にそれが指定管理で実現するのか、確かに業者が入るとコーヒー屋さんでもでき食事も軽くできて、すばらしいものになると思うんですよ。それはものすごくうれしいことです。

朝行って夕方帰るバスがあるような、図書館にしてほしい。本当にお年寄りから、若い人らが、喜んで行けるような。

あとは、田舎に来る人は専門的な勉強したいけど、都会で疲れたからこっちに来た人がおられます。そういう人が活用できるような、施設も作ってほしいです。それは声聞いてきま

したから。

議長
委員

貴重なご意見ありがとうございました。

お話が出た高齢者が免許返納した後っていうのは、私前にもお話したんですけれど。弥栄町にスーパーができましたね。あそこにバスが停まるようになりました。これは市の方の配慮によって、業者と市の方の考えであったんですけど。やはり新しい素敵な図書館ができれば、交通面も併せて考えてくださいと前も話したと思うんですけど。そういうふうに市に頼んでみて、免許返納した高齢者でも行けるように、6町どこからでも行けるように200円で行けるようにというのは可能だと思います。子供たちも、バスに乗れば行けるんですけど、いつでも図書館ばかりというわけでもないでしょうし。大勢の方が三々五々、図書館に通えるという夢のある、ここに書いてあるような、そういう図書館になるよう希望が持っております。ショッピングセンターも近くにあるし、お買い物してからでも利用できるんじゃないかなんて想像しながら、これを読ませてもらっております。交通の便は解消できるんじゃないかなと思っております。

委員

図書館用のバスを、子供たちが利用できるように、何回もでなくていいので出すべきだと思うんです。お母さんお父さんに200円もらって行くということだっけ子供にとったらすごく大変だと思うんです。できれば図書館用のバスを、1日に朝出して夕方帰る。または、お昼前に帰れるとかいうふうにすればいい。夏休みは特に利用があると思います。そういう工夫も必要だと思います。すごくお金がかかることですから、考えないといけないですけど、そうしないと図書館は活性化しないと思います。

建築資金がすごくかかるので、それをどうされるのかすごく不安で、協議会の中にも中央図書館の新設は必要ないっていう意見もありましたので、その資金はどこから出すのか不安です。

委員

基本的に、これから人口がどんどん減っていきます。それに従って丹後半島の面積がどんどん小さくなっていくのであればいいですけど、同じ面積のままで、人口が減っていくので、私は基本的にはコンパクト化していかざるをえないと思っています。そんな中で、図書館も、中央図書館を作るのには賛成ですし、そこを指定管理でやるということも、もちろん委員の皆さんがおっしゃったように心配事がありますが、今まで利用していない人が使えるようになる工夫ができるのであれば、指定管理で運営していくというのはありだと思います。

そんな中で私が思ったのは、皆さんがおっしゃったことと一緒になんですけど、やはり交通網です。コンパクト化して集約するのであれば、そこにアクセスしやすいような交通網の整備は必要だと思います。バスだけではなくて、今後ライドシェアとか、mobiですとか、それから、もう少し先になると自動運転みたいなものももしかしたらできるかもしれないですし、そういうことも考えられるかなと思っています。

それから、一緒にされてしまった大宮図書室と弥栄図書室はどうなるのかということについても少し触れられています。大宮市民局と弥栄市民局に機能を移すというようなことが書いてありますが、これは何か物足りないなと思って読ませていただきました。弥栄市民局は、どこにそんな場所があるのかなと思ったりもしたので、公民館とかも一緒に考えていったらいいんじゃないかなと思います。資料には図書の予約や受け取りができるとありますが、そ

れだけではなくて、もう少し、大宮と弥栄にも中央図書館に求めているような、居心地のよさみたいなものも、図書室ではないんだけど居心地のよい、少し長い時間でもいられる、過ごすことができるものだと思います。Wi-Fiが使えて、図書の貸し借りはそこでもできる。自動販売機でもいいのでコーヒーでも飲めるみたいなのがあるのが、いいんじゃないかなと思っています。紙の本は読んで欲しいんですが、良い悪いに関係なく、やはりどんどん電子書籍に移行するのは止められないのかなと思っていますので、通信機能はあったほうがいいと思っています。

先ほど、子供だけで中央図書館に行けるのかという話がありましたが、今子供だけで図書館に行ってる人ってそんなにいるのかなと考えても、私はあまり見ないかなと思っています。

それから最後に指定管理についてですが、私は京丹後市から外にお金が出るのが本当に嫌なんです。なので、多分、運営のノウハウを持っているところをお願いするとなると、市外の業者になると思うのですが、そのあたりは、仕様書なのか委託契約書なのかかわからないですが見てみると、南海ノビノスもJVみたいな形で何社かでやっておられるので、何かそういう考え方もできるのではないかなと思っています。

たくさん言いましたが、まだあるかもしれないです。

委員

今、就学前の娘3人を育てている子育て世代です。私もほとんど今のご意見と同じ考えというか、子育て世帯の視点から言いますと、私は大宮に住んでるんですけど、大宮も弥栄も統合して実際なくなってしまうても、それはそれで慣れていくのかなと思います。中央図書館があるというところで意外に納得できるなという自分がいて、新しく入ってこられた方も、中央図書館があるというところで腑に落ちる方も一定数おられるのかなと思います。それは、私のただの感覚ですけども。

社協さんの補助金をいただいたりして、それぞれの地域で子育てサロンをしてくださっていたりとかもするので、新しい図書館ができたときは、なんかもうみんな図書館に行くことばかり考えてるんですけど、図書館が外向くだったりとか、図書館が起点になって市内全部を循環させていく、そういうポジションになっていったらいいかなと思います。図書館の中で終結させるのではなくて外向いてもらうことでもっと図書館をPRしたり、子供たちに身近に感じさせてもらうサロンさんとコラボしたり、支援センターの方にも来ていただいたら、コラボになってPRにもなるのかなとにぼんやりと思って、ちょっとご意見させていただきました。以上です。

委員

京丹後市は人口も5万を切ってしまいましたし、学校に行っても、本当に子供たちも少なくなっただけということを実感しております。たびたび話に出る海南ノビノスは本当に素晴らしい図書館ですけども、京丹後市とはまた違う立地条件だと思います。京丹後市の場合は近隣が宮津・与謝野町ぐらいしかないので、そうなるとなかなか海南ノビノスばかり目指していると、計算違いが起こるなというのはとても感じます。

私はもちろん新しい図書館に期待していますし、みんなが利用できる良い図書館を作っていただくことはとても嬉しいんですけど、資料を読んでいると、やはり少し心配になります。素晴らしい図書館、まちのリビングライブラリーということで、本当に理想的な図書館ができるなということは思うんですけども、やはりそれには予算が必要だろうと思います。海

南ノビノスがなぜ素晴らしいかというと、莫大な予算を使ったからだと思います。施設の面でも、人の面でもそうだと思います。職員もたくさんいないとやはり足りません。図書館は、公民館とかとは違って建ったらそれで終わりということではなくて、ずっと本も買っていないといけないし、大勢の人手がいる施設だと思うんです。今は直営なので、私たちは直営の図書館しか知らないんですけど、でも教育委員会の方で、公民連携ということで指定管理による運営をしていこうというふうに決められた。京丹後市は高齢者大学がなくなってしまってサークル活動に移ってしまったようにも聞いてますし、予算的な見込みとというか、図書館の今年度の予算を見ても、図書購入費もとても厳しい中で、やはり指定管理をするにはすごい大きな予算が要ると思うんです。どれだけの人数を指定管理で使うのかわからないですけど、今も京丹後市立図書館の正職員は2人ですよ。あとは会計年度任用職員ですので、働いてもらってる方達もみんな指定管理業者の中で働くことになると思います。そこは変わらないかもしれないんですけど、すばらしい計画を立ててくれたりとか、事業を実施してくれたりするには、やはり事業者に支払うお金も、私は全然想像がつかないものですから、その辺の見込みが知りたいなと思います。もう指定管理ということで決まっている中で、新しい取組であることはいいと思うんですけども、やはり知りたいなと思います。

それから、直営と指定管理のメリット面について説明があるんですけども、他地域ではやはり直営に戻ったという図書館もある中で、今考えられるメリットデメリットも、現実として知りたいなと思いますが、どうでしょうか。

建設の方だけだと基本計画の方では51.5億円というのを聞いてて、用地購入費はまた別というふうに聞いていまして、建てるには大きなお金が要るんだなと思いますけれども。

事務局

海南ノビノスの図書館の建設総事業費が36億8000万円かかったということでお聞きしております。これが令和5年に建設されております。今現在、令和7年度ですので、その後の物価高騰なんかもあります。今現在京丹後市が想定している中央図書館も含めた都市拠点公共施設の総事業費は、54.7億円を見込んでおります。かなり大きな、事業費ということになっているんですけども、その財源としては過疎債なんかも、有利な財源として活用していきたいということで今現時点では考えております。

メリットデメリットなんですけれども、1つ先ほど紹介させていただいたんですけども、やはり開館時間が延ばせられるというのがあります。海南ノビノスも夜9時半まで開館しております。京丹後市は現在6時までということになっておりますので、6時から9時半まで開館時間が延びることで、いろんな年齢層の方が利用できるようになるかと考えています。昼間は働いていて図書館に行こうと思っても6時だと間に合わないといった方も、9時半になると余裕を持って、近くに商業施設もありますので買い物帰りに図書館に寄って行こうかというふうに、利用の幅が広がるかなと考えております。

デメリットについては。

委員

デメリットというか、直営の方がいい面があれば。

委員

私もデメリットについて調べまして、やはり指定管理になりますと、管理者がもしかしら変わるかもしれないというときに、きちんと引き継ぎができるのかという問題があると思います。大阪市の図書館でしたか、トラブルがあって開館できないというような話がありま

した。指定管理を受けられなくなったところが意地悪をして次の指定管理者に引継ぎ情報を伝えないみたいなことも、もしかしたらあるかもしれないですし、指定管理者が変わるときがどうなのかというのも1つあります。他には、例えば、公務員には守秘義務があるが民間にはないとか。ツタヤさんがやっているポイントカードの導入とかは顧客情報のビッグデータ化じゃないかみたいなこともあります。ただそういうところも、仕様書や、契約書でグリップすることができていると思っています。あと、今まで無料だったサービスが有料になるのではないかと言われてるところもありましたが、私は、それだけクオリティが高いものがあれば、有料のサービスがあってもいいかなというふうには思っています。それからもう1つ、資料の廃棄などをされてしまうのではないかなというようなこともありました。図書館は借りる、貸し出すだけではなくて、歴史的な資料の保存もしていますので、そのあたりのところも仕様書で押さえていけたらいいのかなと思っています。

先ほどから皆さんおっしゃってる海南ノビノスについては、私行ったことがないんですが、来館者が予想15万人に対し60万人というのは、あまり言わないほうがいいかなと思っています。どっかのすべり台のときも、地理的なことや周りの環境が違うのに他所の例を同じように挙げていましたけど。ちょっと言わないほうがいいかなと思いました。

学校の先生方はいかがでしょう。

みんなが集まってつながる場所というのは素敵だなあといいながら、その図書館の来館者数の多さという話は先ほどから出てきますが、本と出会っている数はどうなのかと思いました。さっきから話題になる海南ノビノスでは60万人が来館しましたとのことですが、来館なので。その中で本を借りたり、本を楽しんだり、本を介して人がつながっているというところはどうなんだろうというのは、来館者数だけではわからないと思います。図書館という本との出会いの機能が、もう少し見えるといいかなと思いました。

それと、子供という言葉がたくさん出てくるんですけど、子供ってどれぐらいの年齢層を皆さんがイメージしてお話をされているのか、小学生なのか、就学前なのか、中高生なのかが分らなかったです。高校生になると宮津まで通ったりしていますし、網野の子でも宮津の図書館をすごく利用してる子もいます。そういう意味でも図書館とのアクセスが広がっていると思うと、子供というのが、どの層を指してるのかなとか、いろいろ思いながら聞かせてもらっていました。やはりネックは交通なんだろうとは私も思っていますが、それは今の図書館であっても、例えば丹後町の図書館に宇川の子が日常的に行けるかと言ったら、やっぱ厳しいところがあります。図書館が例えば公民館とか、居場所という感覚でいろんなところとつながっていけば、本当に身近になるのかなと思いました。

あとアンケートも50代60代の声が中心なので、高校生達の声や、大人でも20代、30代の声はどうなのかなと思いました。

図書館の今年度の事業計画を見せてもらっても、子供対象とか、親子対象というのはたくさんあるんですけども、大人、例えばシングルの人や大人が、本が楽しいなあ、読書が楽しいなあ、図書館って楽しい所なんだなあと思わないと、子供は連れて行かないだろうと思います。大人が楽しそうに図書館を利用していると、なんか楽しいところなのかなって思うかもしれないので。リタイアされた方たちは、多分たくさん図書館に行かれている

議長
委員

し、小さい子供さんがいると読ませてあげようと思って連れていくと思うんですけども。子供はいないけれどもとか、その中間のあたりの大人が楽しそうに図書館を利用している様子が見えると、図書館が地域の居場所として認識されるのかなと思います。科学教室みたいなイベントでも、親子で参加というのはたくさんあるんです。ただ子供が一緒じゃないと参加しにくいところもあるので、そうゆう層のことも話題になったらいいなと思いました。

委員

うちの子供は宮津の図書館に土日は勉強に行っていました。大宮にも図書室はあるんですけど、わざわざ宮津に行っていたのはおそらく、朝に定期券で行って、お昼ご飯を下のスーパで買えて、また夕方まで勉強ができたからだと思います。でもこの都市拠点施設の計画予定地を見ると、同じようなことが京丹後市でもできるんだろうなあって、ワクワクして聞かせてもらいました。

先ほど大宮図書室と弥栄図書室の今後の話が合った際に、本の貸し借りだけではなくて、自習スペースを残すことができないかなと思いました。大宮町の子は、おそらく中学生でも自転車で計画地まで行けると思います。弥栄町の子たちは自転車で来れるかどうかは微妙ですので、そこは課題かなと思います。

それから細かいことですが、自習スペース作っていただくとしてもタブレットがつながるWi-Fiの環境を準備していただきたいです。久美浜町の地区公民館の方が夏休みに子供を集めて宿題ができる環境を準備してくださったんですが、Wi-Fiが無くて夏休みの宿題ができなかったということがあったそうです。その次の年は、地区の方でWi-Fiを準備していただいて、小学校の子供たちが、夏休みの宿題を公民館でさせてもらえたという話を去年聞いたので、そういうことがお世話になりたいです。

それからもう1つは、今、発達支援の面で課題がある子供たちもたくさんおまして、文字を読むのが苦手な耳からしか聞き取れないという子もいます。今のパソコンなら、インターネットニュースや書籍も読み取ってボイスで流してくれるような機能がありますので、例えば図書館のヘッドホンでできたら、文字を読むのは嫌いだけど話を聞くのが好きっていう子供たちが足を運ぶかもしれないなと思いました。

事務局

ありがとうございます。いろんな貴重なキーワードをいただいたというふうに思っております。図書館を建てただけではなくて、そこにどうやってアクセスするかというのは非常に重要な問題だと思いますので、並行して検討していく必要があると思います。Wi-Fiについても、弥栄図書室のWi-Fiは必ず必要だと今思っております。Wi-Fiが飛んでないと宿題ができないような時代だと思いますので。あと、コーヒーが飲める場所といったキーワードもいただきましたし、やはり閲覧スペースだけでは物足りないということで、大宮図書室でも弥栄図書室でも、中央図書館と同じような居心地のよいサービスを受けていただけるような方向で検討していきたいと思います。

委員

指定管理者が運営をされるということなので、すべて委託料みたいな形になるのかよくわからないんですけども、予算の管理とか、運営の管理とかは教育委員会の方で担当されるということになるわけですね。

事務局

教育委員会の方が引き続き担当するというに、おそらく、なるかなと思います。予算についても教育委員会で執行させていただくということになるかなと思います。

委員 たくさんの委員さんから意見が出ました図書館へのアクセスについても、令和 10 年とか 11 年に完成ということであれば、私は車で行けないかもしれないと思っていたんですけれど。バスがあれば、時間はたっぷりあるので、朝のバスに乗って行きゆっくり過ごして、そしてまたバスに乗って帰るということが考えれて、また希望が湧いてきたと思っています。

先ほどもご意見ありましたが、大人にとって魅力のある図書館にしていけば、子供が少なくなっても、魅力のある施設になると思います。大人が魅力を感じることができれば、子供を連れていくと思いますし、そんなふうにといろいろと工夫をしていただいて、指定管理者の方にそれを示していただいて、実行していただきたいなと思います。

建設予定地が変わって、当初のしんざん小学校の横が叶いませんでしたけれども、商業施設の近くなったということは、かえって答申に沿った場所に、本当に理想の場所に立つことになり、改めてよかったなと私自身は思っています。

委員 駐車場は十分でしょうか。

事務局 敷地面積がかなり縮小になりまして、当初計画地は 3 ヘクタール以上あったのが、6000 平米ぐらいに、縮小されております。しんざん小学校の横だと、駐車場も余裕をもって確保できる面積だったんですけれども、今の候補地に変更されたということで、かなり駐車台数が減るということになります。そこは違う部署の方で、いろいろと策を検討させてもらっているところなんです。商業施設が横にありますので、商業施設を利用される方が図書館を利用されるといったような場合は、商業施設の駐車場を利用するということにもなりますので、相乗効果のような面もあるかと思います。

委員 さきほど聴覚や視覚の話がありましたが、例えば、映像を見て原作が読みたくなるとか、絵を見てそれにまつわる本が読みたくなるとか、そういうこともあるかなと思いますので、映像や絵画などと出会える機会とセットで考えていくことが大事だと思います。図書館ができてからではなくて、同時進行でその周りの、文化的なところと合わせていろんなことを準備していけるのも大事ななと思ったので、言わせていただきました。

委員 都市拠点の会議の中でも言わせてもらったんですけれど、駐車場のことが出ましたので。やはり障害をおもちの方が利用できるように、ものすごく考えてほしいと思います。子育て中の若い世代の方も赤ちゃんを抱っこしてというのは大変だと思うんですけれども、やはり高齢者、障害者のことを考えた駐車スペースであるとかを設計段階から要望していったほしいなと思います。目の見えない方、耳が聞こえない方は、人口の中では少ないかもしれませんが、それでも障害をおもちの方を優先するような設計をぜひお願いしたいなと思います。

子供たちが本を手にとって、読むって面白いと思うその気持ちがもう一番大事だと思います。ぜひ、アンケートの自由意見の要望を参考にさせていただいて、図書館を作ってほしいなと思います。いまは開館時間が短いとアンケートの意見の中にもありましたが、事務局からもありましたけれども、開館時間が長くなることで利用者も多くなると思いますし、みんなが行きたくなる図書館に本当にしてほしいなと今改めて思いました。

議長 他にございませんか。それでは最後に、あみの図書館の空調改修工事について事務局から説明をお願いします。

事務局 ～事務局から説明～

議長 この件についてご質問はありませんか。その他ご意見等なければ、これで議事を閉じさせていただきます。

 進行を、事務局にお返しいたします。

事務局 はいありがとうございます。議事進行お疲れ様でした。ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして副会長からごあいさつをお願いしたいと思います。

副会長 長時間にわたる意見交換、ありがとうございます。会長も最初の挨拶で触れられましたが、私も子供たちに読み聞かせをしています。昨日も、丹後小学校で読み聞かせをしました。朝の読み聞かせは全学年行くのですが、放課後の読み聞かせというのを、1年生と2年生に行っています。昨日も子供たちがすごく楽しみにしていてくれて、15分間なんですけれども、短い本も含めて3冊読むことができました。私の経験上、子供はみんなお話を聞くのが大好きです。ただし、自分1人で本を読むことには本当に残念ながらつながりません。それはやっぱり周りの大人がずっと刺激を与え続けられないからだと思っています。小さい学年の子は読むけど、中学年あたりが境目になって、読む子と読まない子がはっきり分かれてしまいます。もっとお家で読んでくれたらいいなと思ったり、それからもっと学校の先生が継続して読んでくれたら、随分子供たちは違ってくるんだろうなと思うんですけれども。小さいうちから、本は退屈なものではない、本というのはページを開いたら、実に広くて深くて、魅力的な世界が広がっているというのを、私たちボランティアが頑張って子供に伝えています。もう極めて微力ですけれども、決して無力ではないので、少しずつ、頑張っています。そういう子たちが大きくなって、よき読書人となって、新しい図書館に通ってくれたらいいなと思っています。

 今日は本当に大変重い課題ではありましたが、本当にいいご意見をたくさんいただきました。建物は建っても、そのあと中身をどうするかは、本当に、私たちにかかってくるかなと思っています。教育委員会をはじめいろんな人たちが、そこに種を吹き込んで、図書館として成長するように、やっぱり市民が頑張らなければいけない。どんな指定管理者であろうと、どんなに教育委員会が頑張ろうと、それだけでは足りないので、種を吹き込めるように、皆さん頑張っていきましょう。ありがとうございました。

事務局 今日は本当にたくさん貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。参考にさせていただき今後の検討を進めたいというふうに思います。以上をもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。